

南極輸送支援ヘリコプター3号機の横転事故調査結果概要

1 発生部隊等

砕氷艦「しらせ」 CH-101 8193号機

2 発生日時、場所、天候

- (1) 平成29年8月17日(木) 14時16分
- (2) 岩国航空基地すべり地区
- (3) 晴れ 風:南東8kt(5m/s) 視程10Km以上
雲量:3/8 気温:29°C

3 事故概要

- (1) 事故種別:中事故(航空機大破)
- (2) 発生時期:着陸接地後
- (3) 事故形態種類:横転

4 搭乗者

砕氷艦「しらせ」飛行科:5名、第111航空隊:3名

5 事故の状況

カーゴ・スリング訓練におけるホバリングへの移行時、操縦士の操作に起因する機体の縦振動が生じ、直ちに着陸したものの、その後も振動が収まらず、機体がバウンドし横転、機体は大破、搭乗員8名が脱出したもの。

発生場所(すべり地区)



横転した事故機(CH-101)



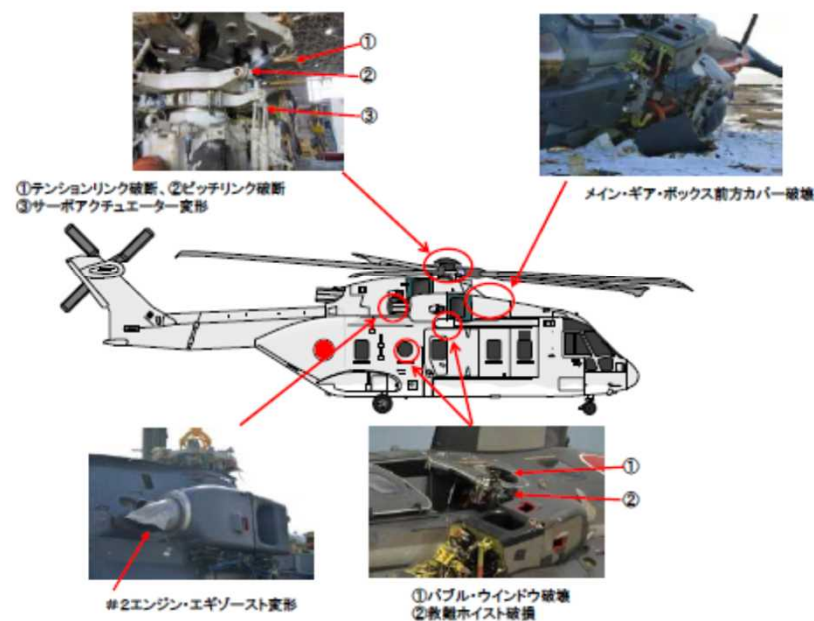
6 損傷状況等

主として前胴左舷下部外板亀裂、No1エンジン変形、救難ホイスト破損、メインローターブレード及びテールローターブレード損壊等

機体の損傷状況(左側)



機体の損傷状況(右側)



7 結論(事故原因)

- (1) 機長の処置判断不適切
機体振動発生時の対処不十分
- (2) 操縦士間の連携不足
どちらが操縦を行うのか操縦士相互の認識不足